

貸切バス初任運転者に対する安全運転の実技指導内容の公表

弊社では、「旅客自動車運送事業運輸規則第47条の7第1項の規定に基づき旅客自動車運送事業者が公表すべき輸送の安全にかかわる事項等」により、貸切バス運転者への初任教育を次のとおり実施しております。

1. 実技指導の実施概要・基本要件	
指導対象者	貸切バス運転者として任命された者 ※バス乗務員初任研修終了後、乗合バス運転者として2年以上従事。その後高速バス運転者研修を終了後、一定期間高速バス運転者として従事した者。
研修期間	貸切バス運転者として選任する前までに 30時間以上（机上指導10時間以上：実技指導20時間以上）実施。
指導担当者	運行管理者、乗務員教育担当者、および指導主任者 ※指導主任者：一定期間貸切バス運転者として従事し、指導主任者として適任であると判断された者。
教習車両区分	中型観光バス、大型観光バス
実技訓練方針	① 貸切初任運転者に対して20時間以上の実技指導を実施し、技量を確保します。 ② ドライブレコーダー映像を活用した客観的な指導監督の実施します。 ③ 営業所周辺ルートから始め、指導者が適正状況に応じてルートを選択いたします。また、市街地・山岳道路・坂道等を段階的に訓練を行います。 ④ 実際の運行経路（実車・回送）および夜間走行訓練の実施します。
2. 実技指導の重点ポイント	
車両構造 特性に応じた操作	車両感覚の把握、オーバーハング・内輪差の考慮、スムーズなアクセル・ブレーキ操作
道路 交通状況に応じた操 作	安全な車間距離の維持、狭路でのすれ違い、合流地点での車線変更、急勾配・山岳での ブレーキ&シフト操作
危険予測 および回避方法	交差点・見通しの悪いカーブ等の危険予知、事前準備操作、車内事故防止策の徹底
マナー・接客 安全確認	乗降扱いの安全確認、適切な駐車方法、譲り合いの精神と丁寧に配慮された運転操作、接客対応

3. 実技指導カリキュラム（モデルケース）				
日程	車種区分	走行ルート（主な経由地）	指導テーマ	具体的指導内容・訓練項目
1日目	大型	飯田本社 ～ 飯田市内 ～ 伊賀良・R153 ～ アップルロード ～ 座光寺 ～ 松川 ～ フルーツライン ～ 本社	安全運転の実技 ・基本走行 ・危険予測運転・交差点	・基本操作および車両感覚の確認 ・交差点における危険予測運転 ・右左折時の巻き込み確認・歩行者保護
2日目	大型	飯田本社 ～ 伊賀良 ～ R153・アップルロード ～ 座光寺 ～ 高森 ～ 松川 ～ フルーツライン ～ 本社	安全運転実技 ・ドライブレコーダー映像などを使用した指導	・ドライブレコーダー映像を活用した客観的指導 ・自らの運転癖の把握と改善 ・スムーズな加減速・車内事故防止運転
3日目	大型	飯田本社 ～ フルーツライン ～ R153・アップルロード ～ 座光寺 ～ 松川 ～ 駒ヶ根 ～ 伊北 ～ R153 ～ 伊那市 ～ 駒ヶ根市 ～ 本社	安全運転実技 ・運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべきことの走行訓練（狭い道路・すれ違い）	・狭い道路でのすれ違い・安全対避 ・道路幅員の把握と適切な車線位置取り ・対向車・歩行者への安全配慮
4日目	大型	飯田本社 ～ 飯田山本IC ～ 三遠南信道 ～ 千代IC ～ 泰阜村 ～ 阿南町 ～ R151 ～ 下條 ～ 川路 ～ 松尾 ～ 鼎 ～ 本社	安全運転の実技 ・危険予測・回避走行 ・先進安全装置を備える適切な運転方法	・山間部・狭隘路における危険予測と回避操作 ・先進安全装置（ASV）を備える自動車の適切な操作 ・制動距離・合流操作の熟練
5日目	中型	飯田本社 ～ 喬木村 ～ 氏乗 ～ 上村 ～ 和田 ～ 平岡 ～ 阿南町 ～ 新野 ～ 売木村 ～ 平谷 ～ 阿智村 ～ 伊賀良 ～ 本社	安全運転実技 ・山岳地・坂道走行訓練 ・見通しの悪い道路操作	・中型観光バスを用いた山岳道路・急勾配走行 ・適切なシフト操作（エンジンブレーキ活用）およびブレーキ操作 ・見通しの悪いカーブ・坂道での事前準備操作
6日目	大型	飯田本社 ～ 飯田IC ～ 中津川 ～ 春日井 ～ 名古屋市内 ～ 小牧IC ～ 中央道 ～ 中津川 ～ 飯田本社	安全運転実技 ・危険の予測及び回避（走行訓練） ・総合走行訓練（高速・交通量の多いエリア）	・高速道路での適切な車線変更・速度調整・合流操作 ・交通量の多い名古屋市内（都市部）での総合運転操作 ・長時間・長距離走行における集中力維持とマナー

※ 上記カリキュラムは標準的なモデルケースであり、受講者の熟練度や天候・道路状況等に応じて最適なルートおよび指導内容を柔軟に選択・追加いたします。